



大工の技が守る

山と街並み

【第2部】生活に寄り添う森林
4 伝統で地産地消

倉 吉市湊町で住宅コンサルタントの仕事をしている倉恒俊一さん(51)は、一級建築士、鳥取県建築技能近代化協会理事。大学の建築学科を出てゼネコンに就職。もっぱら「鉄とコンクリート」ばかりを相手にしてきた。

「木に出合ったのは十年前。建設不況でリストラの嵐が吹き荒れた。言われたさきされる前に、独立してリフォームの仕事をした。よか、と。そのため木を知らなければ、と森林ボランティアの森の子倶楽部に入会。ところが間伐や下草刈りの合間

暮らした 森林の 共生

に聞く話は、どれも深刻なものだった。大工さんは「木がない」と言い、行政は「木は山にある」と言う。林業者は「木はあっても荒れ放題」と頭を抱えている。「安い外材が流通し、日本の山と伝統建築をだめにしてしまった」。危機感を抱いた。

一方倉恒さんは、日本の大工の伝統的な技に強くひかれた。古民家をのぞくと、たいいてい巨大な梁(はり)が頭上に横たわっている。真つすな木は少ない。ほとんどは大きな竜のたうち回るように曲がりくねっている。

「今の大工は製材所から木を買ってくるが、昔は木を切り出す木挽(びき)さんと山に入り、この木は北向きの柱に、この木は梁に、と一本一本使い道を考えながら切っていた。くせ

や曲がりの違う木を、まるで草を手なずけるように自在に扱った無名の大工たち。しかも柱間の寸法は正確で、建具がピンシャリと収まる。「現代のシステムキッチンメーカーが違ってもうた。寸法は設計図でなく全部、大工さんのこころに入っていた」と、倉恒さんは頭をトントンとたたいた。

異 なる木々を使って見事な規格品をつくり出す日本の伝統建築は、京都の町屋のように、街並みの統一感を醸し出す。それにいち早く着目したのが、鳥取市鹿野町の「まち普請(ふしん)の作法」の取り組みだ。

京格子の形状から軒先の寸法まで「規格」を定め、これに沿って改築や修理をすれば補助金ももらえる制度。同町のまちづくり協議会が考案した。「消えていく古い街並みや景観を守るため、このような制度や条例を定めることが急務」と、作法の策定に携わったとっさり総研の沢田麻路サブ・ディレクターは呼び掛ける。



フェアを訪れた子どもにも大工仕事を指導する倉恒さん(右)、写真は伝統建築フェア実行委員会提供

今、倉恒さんは、ことしも倉吉市で開かれる「伝統建築フェア」(10月17-19日)の準備に忙しい。行政や大学教授、大工・左官など建築関係団体が手を結び、伝統建築とそれを支える職人技を伝えていこうというイベント。会場は古い街並みが残る赤瓦・白壁土蔵群地区。昨年は六千人の入場者でにぎわった。

山陰の間伐材を利用した紙容器入りドリンクプレゼント
連載しています特集・広告に関するご意見を郵便またはFAXで募集しています。抽選で20名様(「間伐材を利用した紙容器入りの飲料」(提供ポッカコーポレーション/250ml入り・24本)をプレゼントします。ご意見をお送りいただく際にお名前、郵便番号、ご住所をご記入ください。締め切りは9月30日消印有効。なお、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。ご記入いただいた個人情報(プレゼントの発送のみに使用させていただきます。〒690-0062 松江市魚町10 山陰合同銀行地域振興部内「森林を守ろう!山陰ネットワーク会議」プレゼント係 TEL.0852-55-1820 FAX.0852-28-0495

森林保全活動レポート その10



出雲市民の憩いの場を自分たちの手で整備して、もっと美しい公園へと変身させます。

豊かな緑を子どもたちの未来へ! 森林を守ろう!山陰ネットワーク会議

山陰の森林に関する活動を展開しているNPO法人やボランティア団体を中心にネットワークを構築し、森林保全の輪を広げる活動を展開します。

鳥根県出雲市にある「一の谷公園」。出雲市民は昔からここで花見やハイキングを楽しんできました。みんなの憩いの場といってもいいこの公園ですが、近年ではマツクイムシの被害がひどく、かつてはアカマツにおおわれていた公園の丘も、地肌がむき出しになるくらい無惨な状態になったそうです。「大切な公園がこれ以上荒れていくのは耐えられない。」そう思った地元の方々、市役所や県庁と協議しながら、この土地に合う樹木を植え始めました。10年近くたった今は、その時植えた木の下の草刈りが必要な時期。暑い夏でこうやって、何人もの方々が作業に精を出されていました。「ここは町のオアシスですから、ぜひ次の世代にも、きちんと残していきたいです。」しまねフォレスト・ネットワーク出雲の正木さんは、汗をぬぐいながらも力強く、この公園の未来像について語られました。手間暇かけて整備されている一の谷公園は、散歩が楽しめる、変化に富んだ、様々な樹木が育つ自然公園へ変身中です。

今後の活動予定(参加は自由です)
10月...出雲地区林業祭(つる籠作り)
11月...間伐材利用のテーブル・ベンチ作り体験会
ふるさとの森植樹祭、植樹指導
その他、毎月第一火曜日の19:00~21:00に出雲市総合ボランティアセンターで定例会を開いています。

今回の森林保全活動レポートその10に登場する
しまねフォレスト・ネットワーク出雲
平成8(1996)年、鳥根県から認定された「森林インストラクター」のうち、出雲地区周辺に住むメンバーで構成された団体。現在20数名の方が登録されており、自治体と協議しながら、下草刈りや植樹の指導を行っています。
代表者:正木 勉
連絡先:〒693-0001 鳥根県出雲市今市町17-5
TEL.0853-22-2473 FAX.0853-22-2630

森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議 参加団体のみなさん (6月18日現在) ※50団体
鳥取県
NPO法人 賀露 おやじの会(鳥取市)
NPO法人 サカズキネット(倉吉市)
広葉樹文化協会(鳥取市)
財団法人 南部町地域振興会(南部町)
大山横手道上ブナを育成する会(米子市)
鳥取県木造住宅推進協議会西部支部(米子市)
鳥取市女性の森グループ(鳥取市)
トリネット(米子市)
日野川の源流と流域を守る会(日野町)
丸山生産森林組合(伯耆町)
鳥根県
出雲市林業振興協議会(出雲市)
NPO法人 緑と水の連絡会議(大田市)
NPO法人 もりふれ倶楽部(松江市)

源流の森山づくり(邑南町)
財団法人 鳥根県西部山村振興財団(浜田市)
里山を育てる会(松江市)
しまねフォレスト・ネットワーク出雲(出雲市)
薪ストーブ同好会(松江市)
松江ネイチャーゲームの会(松江市)
木質バイオマスエネルギー地産地消ネットワーク(松江市)
森の仲間(出雲市)
遊木民倶楽部(益田市)
特別協賛
新日本海新聞社
山陰中央新報社
特別協力
凸版印刷株式会社

この広告に関するお問い合わせは事務局まで
山陰合同銀行 地域振興部内
鳥根県松江魚町10 千690-0062
TEL.0852-55-1820

